

牛久自然観察の森へ行ってきました。～その 5. クモの仲間

1. ジョロウグモ



3重の複雑な網をはるのが特徴で、下の大きくめだつのがメス、上のずっと小さい二頭がオスでまるで別の種類のように見えます。メスが脱皮して成体になるときに交接しますが、タイミングを逃すとメスに食べられてしまいます。他の多くのクモと違い、すぐに咬みついて毒液を注入してから獲物を捕らえ、口から消化液を出して肉を溶かし、その溶けた液を吸う(「口外消化」という)そうです。

2. ナガコガネグモ

右の写真はナガコガネグモを腹側から見たところ。ジョロウグモと似ていますが、腹部の黄色と黒のしま模様が細かく、草原や林の



周辺、水田などで、円い網をはります。網には、ジグザグの直線状など、さまざまな形の”かくれ帯”をつけて、その中央にとまります。

3. ワキグロサツマノミダマシ



どこにいるか分かりますか？

腹部は丸く美しい緑色をしています(側面は黒褐色)。夜行性で夕方に網をはり、夜の間、虫を捕えて食べ、日中は網を畳んで葉上または葉の裏で休んでいるそうですが、この日は昼でしたがマツヨイグサにまぎれて虫が来るのを待っているように見えました。

4. クモの巣(たな網)



5. ザトウムシ



クモに見えますが、頭胸部と腹部の境がはっきりせず、ダニに近い仲間なのだそうです。

クサグモの仲間がこのような巣網を作るようです。

[理科支援員 宮内]